都市防災事業計画（第2回変更）

平成30年3月

千葉県流山市

（様式1）整備方針等

整備方針等

【防災まちづくりの現状及び課題】

　流山市は、千葉県の北西部に位置し、面積は35.28㎢、人口177，597人である（平成28年4月1日現在）。本市の西境を南北に江戸川が、北部には利根川と江戸川を結ぶ利根運河が東西に流れている。市域の多くは洪積台地の「下総台地」であるが、江戸川沿いの西側には低地が広がり、水運で栄えた市街地が形成されている。現在は、市の中心部を南北に通過する鉄道つくばエクスプレス沿線では、市域の約5分の1にあたる6.4㎢の区画整理が実施中であり新市街地が形成されつつある。過去には地震などの大きな災害に見舞われたことはないが、台風による大雨や近年頻発する「ゲリラ豪雨」等により、住居の浸水や道路冠水等の水害が発生している。

　これまでの災害対策としては、市職員や市民の防災資質の向上、自主防災組織の育成、実践的な防災訓練の実施、他市や民間事業者との応援協力体制の推進、避難誘導や避難所運営体制の整備など、ソフト面での自助・共助・公助など連携した対策を図るほか、ハード面では、地震に強いまちづくりや建築物の耐震性強化、防災広場の整備、避難所に防災備蓄倉庫を整備し、食糧や飲料水、防災資機材の備蓄を推進、消防水利や消防力の強化、情報伝達のための防災行政無線、MCA無線など様々な通信施設の整備を進め減災・防災への取り組みを図ってきた。

　平成24年度に修正した地域防災計画では、「首都直下地震対策専門調査会」で検討されている首都直下で発生するM7クラスの地震のうち、本市にもっとも被害をもたらすことが予想される地震のひとつとである東京湾北部地震（冬18時に地震が発生した場合）における本市の避難者は25，520人に上ると想定されており、現在の防災備蓄倉庫の備蓄では食糧、水及びその他防災資機材が不足するのが現状である。

　このような本市の状況から大規模災害対策の充実を図る上で、住民の避難地又は防災活動の拠点となるスペースを確保することは非常に重要であり、このスペースをより有効に活用するためには、想定される災害応急活動の内容等に応じた機能を複合的に有する「防災拠点」として整備することが求められている。

　このため、地域防災計画に基づく防災備蓄倉庫、災害用井戸、防災行政無線設備、耐震性貯水槽等、防災拠点の種類に応じた規模や機能を有した、平常時には防災に関する研修・訓練の場、消防訓練の場又は地域住民の憩いの場等となり、災害時には、防災活動の拠点スペースや住民の避難地となる防災拠点の早急な整備が課題となっているところである。

【整備方針】

　現在、流山市では、大規模地震等による災害発生時に、地域住民等が一時避難したり応急復旧等の活動のための拠点となる場所として、小中学校、高等学校、大学の校庭や公園、河川敷緑地など40か所の避難場所と総合運動公園の広域避難場所1か所を指定している。

　これらの既存の避難場所（避難所）には、必要な食糧及び資機材等を備蓄するための防災備蓄倉庫やかまどベンチなどの防災施設を順次整備する。

　また、災害時に市民が速やかに避難できるように、市街地でのオープンスペースの確保や避難場所が適正な配置となるよう防災広場を整備するなど、市民の安心安全の確保に努めていく方針である。

　防災広場については、現在、南部地区にある新東谷防災広場がありますが、新たに中部地区の上新宿防災広場を整備する。既に上新宿広場の敷地には、災害用井戸及び耐震性貯水槽を設置しているが、その他の防災施設が整っていないことから、防災広場としての機能を拡充し、段階的に施設を整備する。

　具体的には、避難所としての機能を持たせるために、防災備蓄倉庫を設置するほか、ロープ柵及び外灯（太陽光発電式）を設置し、避難者の使い勝手、安全性を向上させる。

　防災備蓄倉庫については、全ての避難所63か所に整備することを目指している。現在は、小中学校や公民館などの避難所（避難場所）である公共施設26か所（平成26年度現在）に整備しているが、市内の小中学校25校のうち防災備蓄倉庫が整備されている小中学校は18校である。

　このような中、防災拠点、避難所としての多くの避難者が避難することが想定される小中学校及び高等学校等に防災備蓄倉庫を早急に整備することが求められている。

　したがって、市総合計画の実施計画での整備予定年度を前倒しして、整備を進め、平成28年度までに全ての小中学校に防災備蓄倉庫を整備を実施し、各小中学校に食料や防災資機材を備蓄することで、避難所としての機能を強化する。また、同様に人口密度の高い地区にある高等学校についても平成28年度から順次、防災備蓄倉庫を整備し避難所としての機能を強化する。なお、小学校の余裕教室を防災備蓄倉庫として利用している学校では、市内の人口増に伴う児童発生予測数の増加に基づき、防災備蓄倉庫を外付けの倉庫として計画的に再整備していく必要がある。

　耐震性貯水槽については、大規模地震が発生した場合に備え、市内の避難場所等（学校・公民館等）及び防災拠点施設（市役所等）並びに公園の敷地内に当該水槽を順次設置し、避難住民の生活用水（洗浄水やトイレ水）及び火災発生時の消火用水の確保に努める。

（様式2）計画事業一覧

計画事業一覧

都道府県名	千葉県		市町村名	流山市	計画期間	平成26年度　～　平成30年度	
担当部局名	市民生活	部(局)	担当者	（正）鶴巻　浩二	連絡先	TEL	04－7150－6312
	防災危機管理	課		（副）染谷　勝浩		FAX	04－7150－2862
	防災危機管理	係		（副）		e-mail	seikatuanzen@city.nagareyama.chiba.jp

【都市防災総合推進事業】

事業区分		事業主体	事業地区名	地区面積（ha）	都市防災総合推進事業における事業期間		補助率	補助事業費（予定）額	
					開始年度	終了年度		（参考）事業費	（参考）国費
地区公共施設等整備	事業計画						1／2		
	都市施設（公園・緑地）						1／2		
	地区公共	流山市	防災広場整備事業（中部地区）	78.42	H27	H28	1／2 用地1／3	5.2	2.6
	防災まちづくり拠点	流山市	防災備蓄倉庫整備事業（中部地区外3地区）	2176.9	H26	H30	1／2 用地1／3	30.0	15.0
	地区公共	流山市	耐震性貯水槽整備事業（思井地区）	4.5	H29	H29	1／2 用地1／3	14.2	7.1
合計								49.4	24.7

注）　補助事業費について百万円単位。

注）　該当のないメニューについては行を削除する等して、なるべく一枚に収まるよう作成してください。

（様式3）関連事業［都市防災上の課題解決に関連する事業］

事業区分	事業主体	事業地区名	事業規模（面積、延長、幅員等）	総事業費（国費ベース）	事業期間		事業実施状況	重点密集市街地の有無
					開始年度	終了年度		
地域防災施設整備事業	流山市	中部地区	防災無線子局　1局	6 （3）	H26	H26	（仮称）新市街地地区小中学校併設校に防災行政無線子局を整備する。	×
地域防災施設整備事業		中部地区外2地区	避難所案内板 13か所×2個	3 （1.5）	H26	H26	（仮称）新市街地地区小中学校併設校を含め、つくばエクスプレス沿線地区に避難場所案内板を整備する。	×
地域防災施設整備事業		中部地区	防災井戸　1か所	3 （1.5）	H26	H26	（仮称）新市街地地区小中学校併設校に防災井戸を整備する。	×
地域防災施設整備事業		中部地区	マンホールトイレ10か所	2 （1）	H26	H26	（仮称）新市街地地区小中学校併設校にマンホールトイレを整備する。	×
地域防災施設整備事業		中部地区外2地区	耐震性貯水槽5基	46 （23）	H26	H28	中部地区外2地区に耐震性貯水槽を整備する。	×
効果促進事業								
市単独事業	流山市	中部地区	屋上ヘリサイン	0.3 （0）	H26	H26	（仮称）新市街地地区小中学校併設校の屋上にヘリサインを整備する。	×

注）　総事業費について百万円単位。

注）　地域防災計画、地震対策緊急事業五箇年計画等を参照し、関連部局と調整の上作成。

（様式4）年度別事業計画1【参考】

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位

事業区分		事業主体	事業地区名	整備内容	重点密集市街地	補助率	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
災害危険度判定調査						1／3						
住民等まちづくり活動支援						1／3						
地区公共施設等整備	事業計画					1／2						
	都市施設（公園・緑地）					1／2 用地1／3						
	地区公共	流山市	中部地区	防災広場 1か所	×	1／2 用地1／3	0.0 0.0	1.6 1.6	1.0 1.0	0.0 0.0	0.0 0.0	2.6 2.6
	防災まちづくり拠点	流山市	中部地区 外3地区	防災備蓄倉庫 10か所整備	×	1／2 用地1／3	3.0 3.0	3.0 3.0	3.0 3.0	3.0 3.0	0.0 3.0	12.0 15.0
	地区公共	流山市	思井地区	耐震性貯水槽 1か所	×	1／2 用地1／3	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 7.1	0.0 0.0	0.0 7.1
	防災情報通信ネットワーク（特例）					1／2						
都市防災不燃化促進	不燃化促進調査					1／3						
	不燃化促進					1／2						
密集市街地緊急リノベーション事業						1／2						
復興まちづくり総合支援事業	復興まちづくり計画策定支援					1／2						
	復興に向けた公共施設等整備（防災）					1／2						
	復興に向けた公共施設等整備（防災）					1／2 （景観地区等1／3）						
	復興に向けた公共施設等整備（防災）					1／3						
合計							3.0 3.0	4.6 4.6	4.0 4.0	3.0 10.1	0.0 3.0	14.6 24.7

（様式5）年度別事業計画【参考】

○補助額の内訳

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【百万円単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
中部地区	防災広場 1か所	用地以外	1/2	0.0 0.0	1.6 1.6	1.0 1.0	0.0 0.0	0.0 0.0	2.6 2.6
		用地	1/3						
中部地区 外3地区	防災備蓄倉庫 10か所	用地以外	1/2	3.0 3.0	3.0 3.0	3.0 3.0	3.0 3.0	0.0 3.0	12.0 15.0
		用地	1/3						
思井地区	耐震性貯水槽 1か所	用地以外	1/2	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 0.0	0.0 7.1	0.0 0.0	0.0 7.1
		用地	1/3						
		用地以外	1/2						
		用地	1/3						
		用地以外	1/2						
		用地	1/3						
		用地以外	1/2						
		用地	1/3						
		用地以外	1/2						
		用地	1/3						
			合計	3.0 3.0	4.6 4.6	4.0 4.0	3.0 10.1	0.0 3.0	14.6 24.7

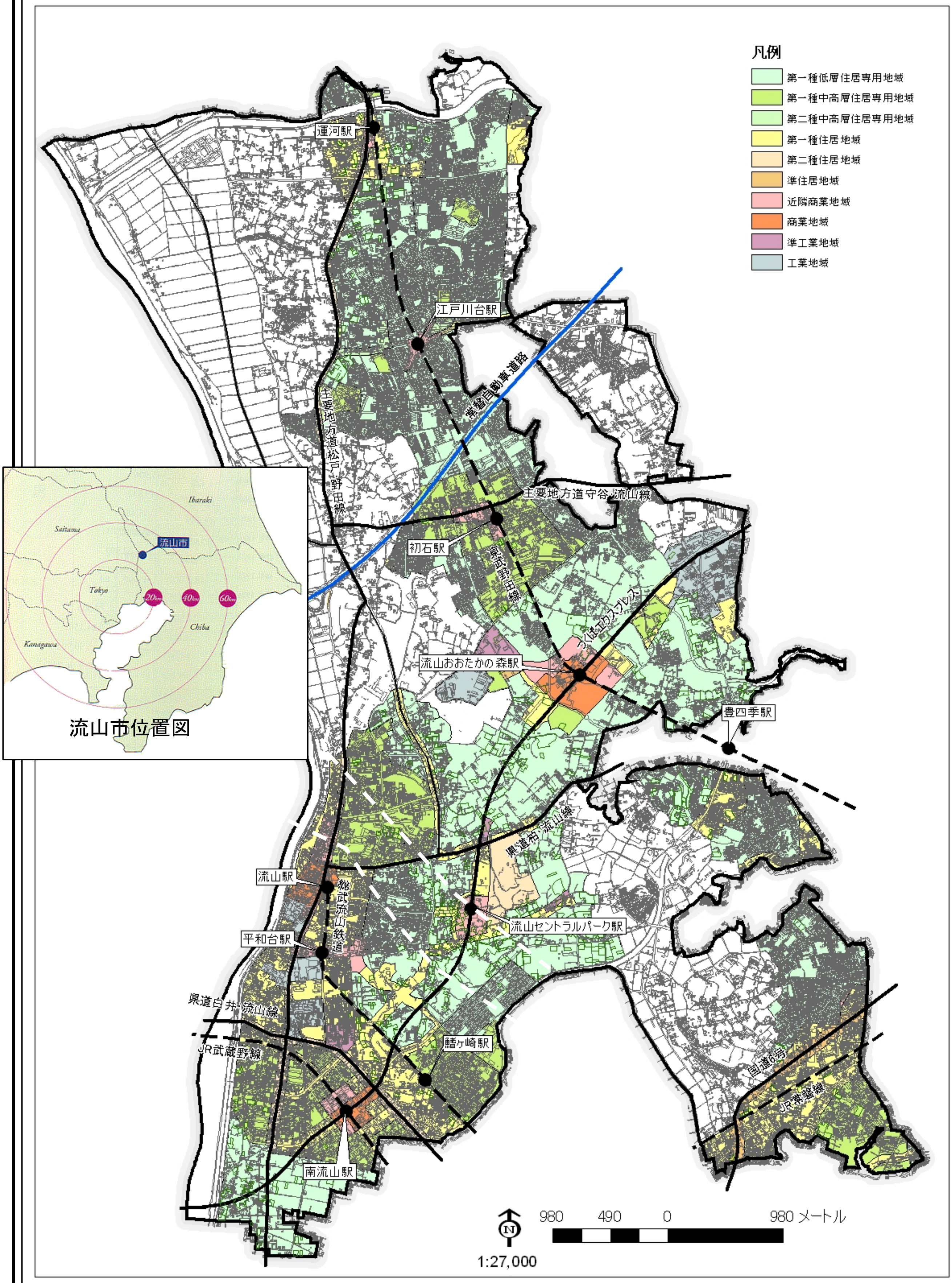
○用地取得面積

［上段：当初（変更前）、下段：変更後］【m2単位】

事業地区名	整備内容	整備の内訳	補助率	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	計
		用地	1/3						

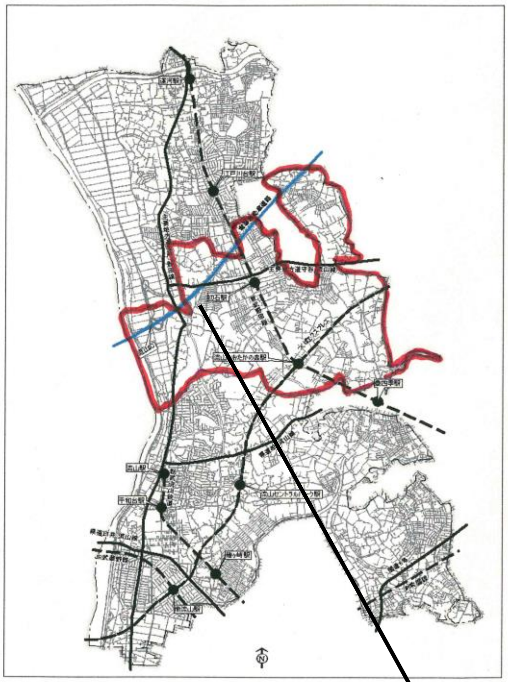
○様式6　位置図

地区名	千葉県流山市



○　様式6　防災広場

地区名	千葉県流山市	面積	78. 42ha	区域	中部地区



上新宿防災広場（平成２７年度から平成２８年度）

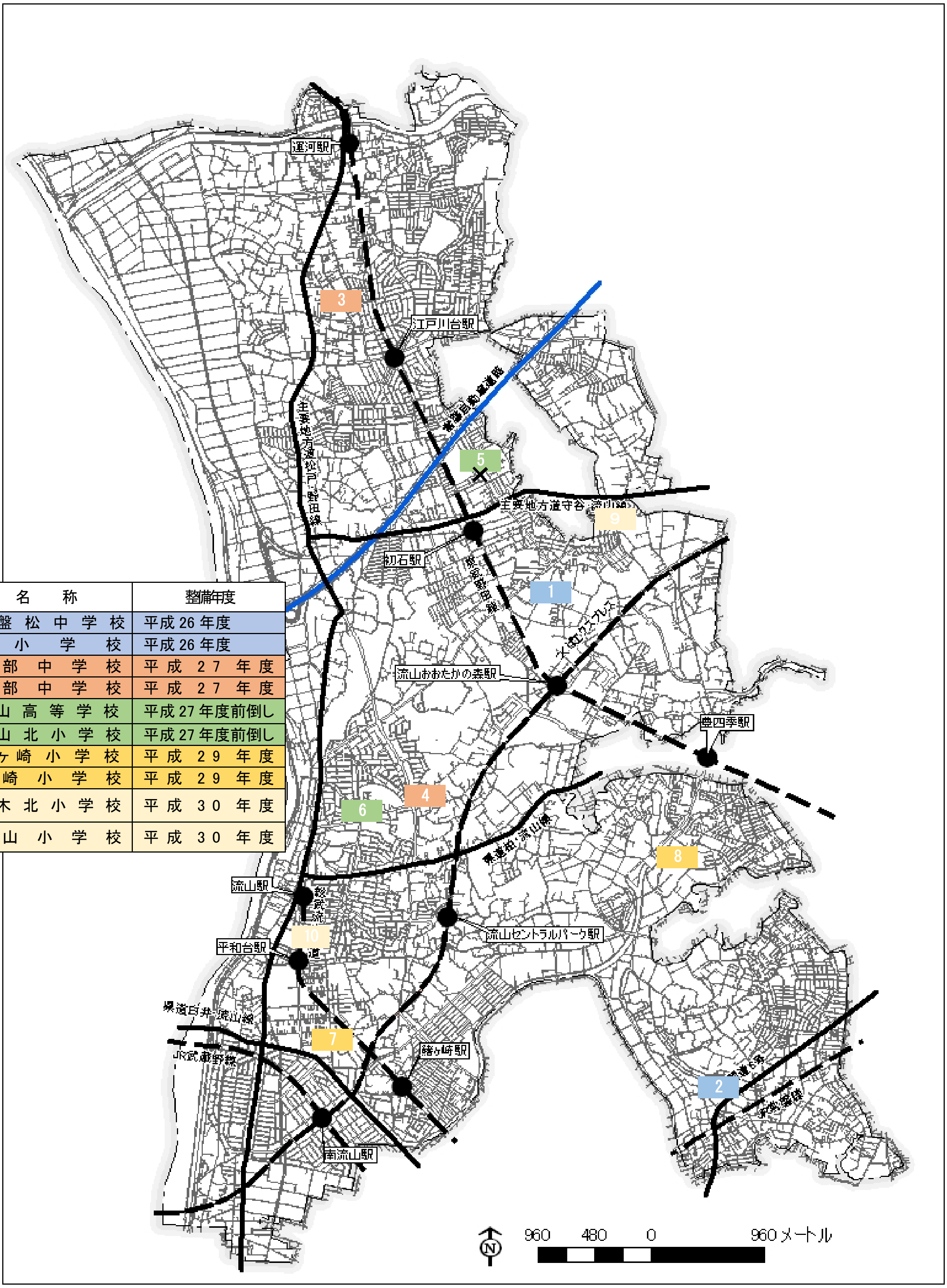
防災備蓄倉庫【平成２７年度整備】

案内板設置　【平成２７年度整備】

外灯（太陽光発電式）【平成２７年度前倒し】

○　様式6　防災備蓄倉庫設置場所

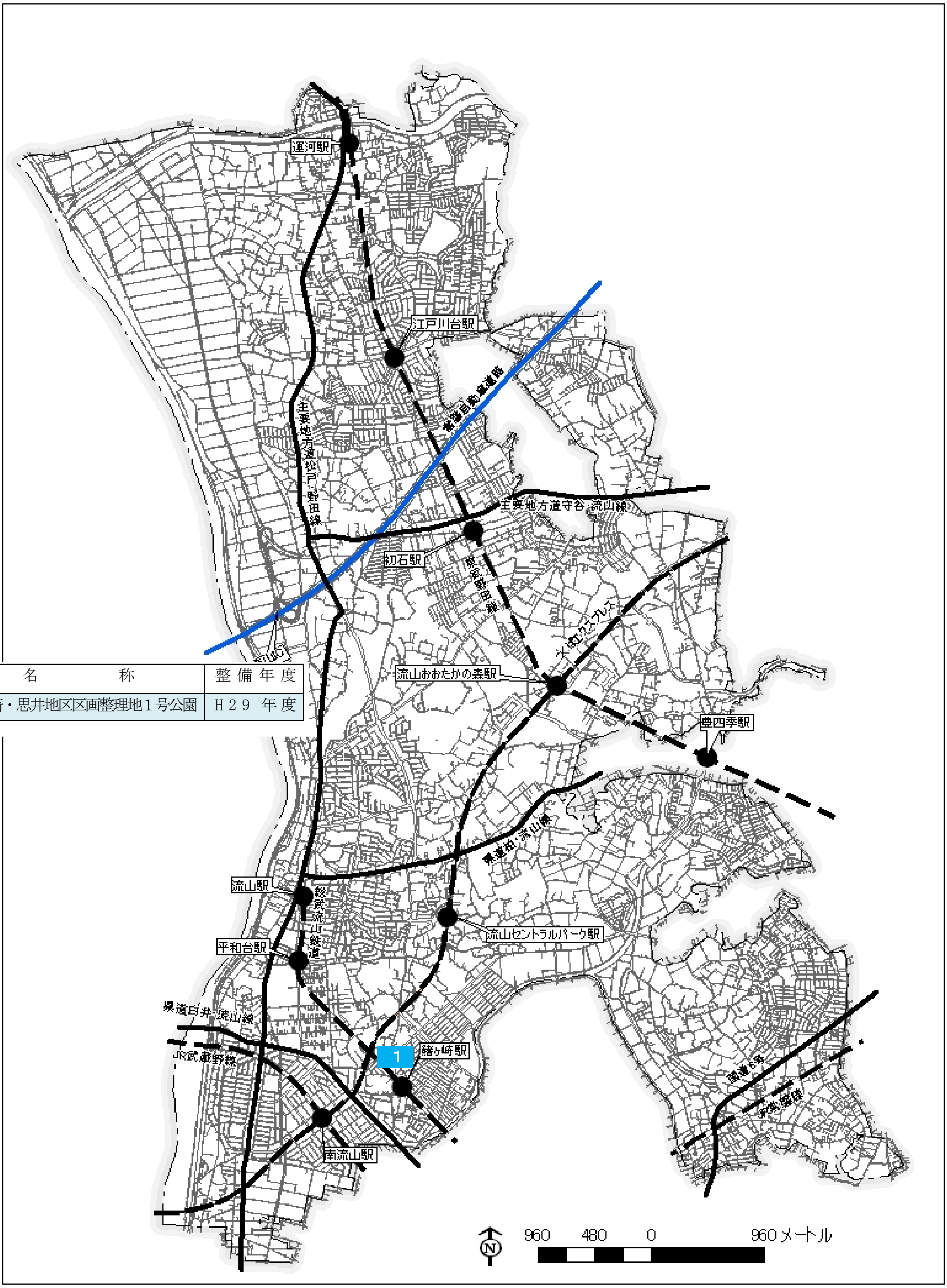
地区名	千葉県流山市	面積	2176. 9ha	区域	中部地区外3地区



No.	名　称	整備年度
1	常盤松中学校	平成26年度
2	東小学校	平成26年度
3	北部中学校	平成27年度
4	南部中学校	平成27年度
5	流山高等学校	平成27年度前倒し
6	流山北小学校	平成27年度前倒し
7	鰭ヶ崎小学校	平成29年度
8	長崎小学校	平成29年度
9	八木北小学校	平成30年度
10	流山小学校	平成30年度

○　様式6　耐震性貯水槽設置場所

地区名	千葉県流山市	面積	4．5ha	区域	**思井地区**



No.	名　　称	整 備 年 度
1	鰭ヶ崎・思井地区区画整理地１号公園	Ｈ２９　年 度